

KITSUKI HIGH SCHOOL GUIDE 2022



伝統の風を受けて 前へ!
やる気・元気・杵築



大分県立杵築高等学校

年間行事

4
Apr.

入学式
 新入生歓迎行事(遠足)
 集団宿泊研修(1年生)

5
May

保護者連絡会
 生徒総会

6
Jun.

県高校総体
 授業公開週間
 杵高クリーンアップ
 (学校内外の清掃活動)

7
Jul.

職業人講話(1年生)
 クラスマッチ(2・3年生)
 夏季補習
 夢ナビライブ(2年生)

8
Aug.

大学等オープンキャンパス
 夏季特別講座(3年生)

9
Sep.

十王祭(文化祭・体育大会)
 オープンスクール
 学年別保護者連絡会



クラスマッチ



十王祭(体育大会)



修学旅行



ダンス発表会

10
Oct.

生徒総会
 授業公開週間
 杵高クリーンアップ
 (学校内外の清掃活動)

11
Nov.

次年度コース決定
 芸術鑑賞(3年に1度)

12
Dec.

修学旅行
 クラスマッチ(1・3年生)

1
Jan.

百人一首大会
 大学入学共通テスト
 社会への旅立ちセミナー(3年生)

2
Feb.

如月祭(3年生を送る会)
 同窓会入会式

3
Mar.

卒業式
 クラスマッチ(1・2年生)
 ダンス発表会

部活動紹介

体育部

- 野球部
- 陸上競技部
- 柔道部
- 剣道部
- テニス部
- サッカー部
- 体操部
- 卓球部
- 空手道部
- ウエイトリフティング部
- バレーボール部(女子)
- 弓道部
- バスケットボール部(男子)

令和3年度の主な成績

- 陸上競技 (男子) 県総体総合・3種目優勝、県新人大大会総合・4種目優勝
 北九州地区予選11種目出場、インターハイ1種目出場
 全九州新人大大会8種目出場、U18日本陸上競技1種目出場
 (女子) 県総体2種目優勝、県新人大大会2種目優勝
 北九州地区予選12種目出場、全九州新人大大会5種目出場
- 剣道 (男子) 県総体個人優勝、全九州大会個人出場、インターハイ1名出場
 県新人大大会団体準優勝、全国選抜大会団体出場
 (女子) 県総体準優勝、全九州大会団体・個人2名出場、県新人大大会団体準優勝
- ウエイトリフティング (男子) 県総体1階級優勝、インターハイ3階級出場、県新人大大会1階級優勝
 全九州選抜大会1階級優勝、全国選抜大会1階級出場
 (女子) 県新人大大会1階級優勝
- テニス (女子) 県新人大大会団体準優勝
 全九州新人大大会団体出場
- 柔道 (男子) 県総体2階級優勝、インターハイ2階級出場、県新人大大会1階級優勝
 全九州新人大大会団体出場
 (女子) 全九州新人大大会団体出場
- 空手道 (男子) 全九州新人大大会団体組手・団体形出場
 (女子) 全九州新人大大会団体組手・団体形・組手1階級出場
- 体操 (女子) 県総体団体準優勝・個人総合優勝・2種目優勝、インターハイ2名出場
 (男子) インターハイ1名出場
- 卓球 (男子) 全九州新人大大会団体出場



陸上競技部



剣道部

文化部

- 書道部
- 美術部
- 吹奏楽部
- 科学部
- 新聞部
- ホーム部(華道・茶道)
- 放送部
- 将棋部
- ユネスコ部

令和3年度の主な成績

- 書道部 高野山競書大会(審査委員長賞・推薦)、県高文連書道中央展(優良賞)
 県高校競書展(硬筆の部:県知事賞)
- 美術部 高山辰雄賞ジュニア美術展(推奨)、県高文連美術専門部スケッチ大会(推奨)
 県高文連美術・工芸中央展(絵画:優良賞)
- 吹奏楽部 県吹奏楽コンクール金賞、
 県アンサンブルコンテスト
 (サクソフォン四重奏:金賞)
- 放送部 全九州高校総合文化祭
 (ラジオ番組部門:優良賞)
- 将棋部 県夏季将棋大会
 (男子個人:A級4位・B級優勝・C級優勝)



書道部

進路状況

国公立大学 ()内は既卒者数で外数

大学名	R4年度	
大阪大	1	
鳥取大	1	
島根大	2	
広島大	2	
山口大	5	
徳島大	1	
愛媛大	2	
高知大	2	
九州工業大	2	
佐賀大	1	
長崎大	2(1)	
熊本大	1(1)	
大分大	教育	3
	福祉健康	1
	経済	4
	理工	4
宮崎大	7	
鹿児島大	3(1)	
鹿屋体育大	3	
琉球大	1	
横浜市立大	1	
長野大	1	
島根県立大	1	
広島市立大	1	
下関市立大	3	
周南公立大	4	
高知工大	2	
北九州市立大	2	
長崎県立大	3	
熊本県立大	2	
大分県立看護科学大	1	
宮崎公立大	2	
名桜大	1	
計	72(3)	

私立大学

大学名	R4年度
国際医療福祉大	1
城西大	(1)
麗澤大	1
工学院大	1

國學院大	1
駒澤女子大	(1)
帝京大	1(1)
東京農業大	1
日本大	1
明治大	1
東海大	5
福井工業大	1
皇學館大	(1)
京都先端科学大	(2)
同志社大	5
花園大	1
明治国際医療大	1
立命館大	1
近畿大	(1)
関西学院大	1(1)
神戸学院大	(1)
神戸女子大	1
高野山大	1
岡山理科大	3(1)
広島工業大	1
広島国際大	1
広島修道大	1
九州栄養福祉大	1
九州共立大	2
九州産業大	4
九州女子大	3
久留米大	1
西南学院大	9
中村学園大	1
西日本工業大	3
日本経済大	1
福岡大	13(1)
福岡工業大	9
熊本保健科学大	1
崇城大	3
日本文理大	12
別府大	19
立命館アジア太平洋大	2
九州保健福祉大	4
宮崎国際大	1
計	120(11)

短期大学

短期大学名	R4年度
大分県立芸術文化短大	13
九州女子短大	1
中村学園大短大部	2
大分短大	1
別府大短大部	11
別府溝部学園短大	1
計	29

文部科学省所管外の大学校

学校名	R4年度
水産大学校	1
計	1

看護学校

学校名	R4年度
大分中央看護学校	7
藤華医療技術専門学校	2
別府医師会立別府青山看護学校	2
西日本看護専門学校	1
小倉南看護専門学校	3
大分市医師会立大分看護専門学校	1
計	16

医療系学校

学校名	R4年度
麻生リハビリテーション大学校	1
久留米リハビリテーション学院	1
大分リハビリテーション専門学校	3
大分臨床検査技師専門学校	3
大分臨床工学技士専門学校	2
大分医学技術専門学校	2
日本文理大医療専門学校	1
計	13

各種・専修学校等

学校名	R4年度
大分県立農業大学校	1
大分県立工科短期大学校	8
九州職業能力開発大学校	1
川内職業能力開発短期大学校	1
京都伝統工芸大学校	1
日本分析化学専門学校	1
中村調理製菓専門学校	2
九州電気専門学校	1
九州総合スポーツカレッジ	1
麻生建築&デザイン専門学校	1
福岡カレッジ・オブ・ビジネス	1
明日香美容文化専門学校	3
大原学園大分校	1
智泉福祉製菓専門学校	2
大分医療事務専門学校	1
IVY大分高度コンピュータ専門学校	1
KCS大分情報専門学校	2
東京アカデミー大分校	1
Be-STAFF MAKE-UP UNIVERSAL	1
計	31

就職

企業名	R4年度
大分県警察本部	1
杵築速見消防組合消防本部	1
別府消防署	1
一般曹候補生	1
自衛官候補生	3
海上保安学校	1
株式会社 戸高鉱業社	1
株式会社 テイクファイブ	1
木付や	1
計	11



杵築高校に進学して

徳島大学 総合科学部
河野 朱里 74回生 (令和4年3月卒業)

私が杵築高校に進学を決めた理由は、本校が文武両道を掲げ、勉強にも部活動にも力を入れていたからです。私は入学以前から、陸上競技を高校でも続けながら大学進学をしたいと考えていました。

部活動では、礼儀、心身ともに鍛えることができます。部活動で学んだ『逃げない、諦めない』という精神が、受験勉強にとっても役に立ったと感じています。また、3年間苦楽を共にした仲間は特別な存在となりました。

トイレクリーンアップというボランティア活動では、普段の清掃では行き届かないところまで長時間かけて掃除をしました。この活動を通して、トイレだけでなく自分の心も磨くことができます。ボランティア精神も学び、自分のためだけでなく、誰かのために動ける人になりたいと思うようになりました。

私は杵築高校に進学して、ここでは言い切れないほど多くのことを経験することができました。

高校選択を迷っている中学生の皆さん、普通科の杵築高校では、将来のことを3年間じっくり考えることができます。まだ夢が見つからない人や迷っている人、夢に向かって進んでいる人とそれぞれあると思います。高校で自分がどう行動するかによって、可能性はいくらでも広がります。自分の可能性を信じて、それぞれの道を切り開いてください！



杵築高校での学び

熊本大学 教育学部 小学校課程
藤原 太輝 74回生 (令和4年3月卒業)

杵築高校の特色は全員が集中して勉強や行事に取り組めることです。熱心な先生や友達と授業や放課後の学習に取り組むことで多くの知識を身につけられます。三日間にわたり、体育祭や文化祭を行う十王祭ではかけがえのない思い出と相手を思いやり、協力する人間性が得られます。

私は家に近い進学校という理由で杵築高校に入学しました。杵築高校のことはあまり知りませんでしたが、入学してみると、普段の学びや会話が非常に楽しく、杵築高校で過ごすことが日に日に好きになりました。勉強や部活動等に対しての強い志を持った仲間と共に粘り強く何事にも励むことで「新しい自分」が現れました。学力も人間性も中学生の頃から何倍も成長した自分です。皆さんにもこの「新しい自分」を手にしてほしいです。手に入れられるだけの環境が杵築高校にはあります。

授業では生徒の学びへの意欲を引き出してくれる先生が待っています。十王祭ではどんな1年生でも助け、引っ張ってくれる先輩がいます。そんな人達と間近で接することで私は大きく成長できました。時には辛く苦しいこともありましたが、杵築高校の環境で大きく成長できた自分がいたから乗り越えられました。人生一度きりの高校生活をこの高校で過ごせて心から良かったと思います。皆さんにも杵築高校での日々を過ごしてほしいと思います。

校訓

尚学 剛健 真摯 向上

120年を越える伝統に培われた
文武両道の精神

本校の歴史

大分県立杵築中学校

明治30年4月1日
大分尋常中学校杵築分校として創立

明治33年4月1日
大分県杵築中学校として独立

明治34年9月1日
大分県立杵築中学校と改称

明治41年10月1日
新校舎、十王台に移転

大分県立杵築高等女学校

明治41年4月5日
杵築町外4か村組合立女子実業学校として創立

明治44年4月1日
町村組合立杵築実科高等女学校と改称

大正10年4月18日
組合立大分県杵築高等女学校と改称

昭和2年4月1日
大分県立杵築高等女学校と改称

大分県立杵築高等学校

昭和23年4月1日
学制改革により大分県立杵築中学校と
大分県立杵築高等女学校とを合併して、
大分県立杵築高等学校として発足

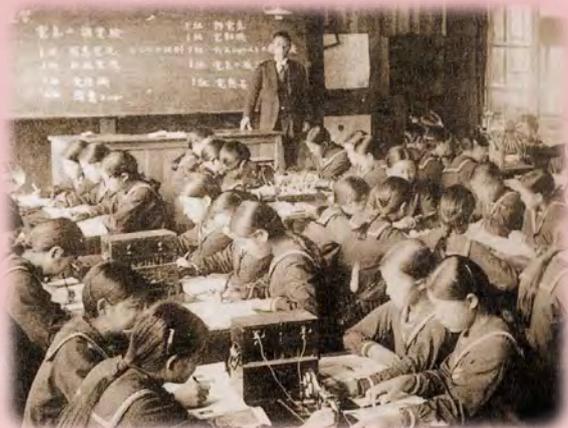
昭和52年9月22日
創立80周年記念式典を挙

昭和61年9月23日
創立90周年記念式典を挙

平成9年9月29日
創立100周年記念式典を挙

平成19年10月1日
創立110周年記念式典を挙

平成29年10月2日
創立120周年記念式典を挙



グローバル 人材育成プログラム「志四海」プロジェクト

本校は、重光葵氏よりいただいた「志四海」の精神を体現すべく、
1年次から世界に目を向けた体験活動に取り組んでいきます。



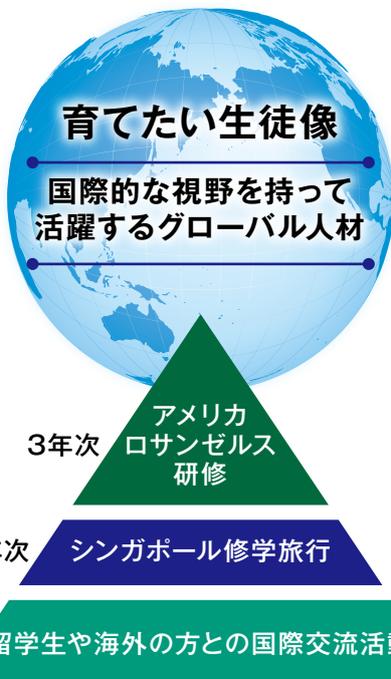
揮毫「志四海」は、本校の卒業生で、外務大臣を務められた重光葵氏から昭和32年（1957年）にいただいた言葉で、「四方の海をも超える大きな志をもつ」という意味です。

杵築高校生はこの言葉を胸に、大きな志を抱き、目標達成のために日々努力を重ねています。

グローバルな
体験型学習

十王会（同窓会）・
十王会奨学会の支援

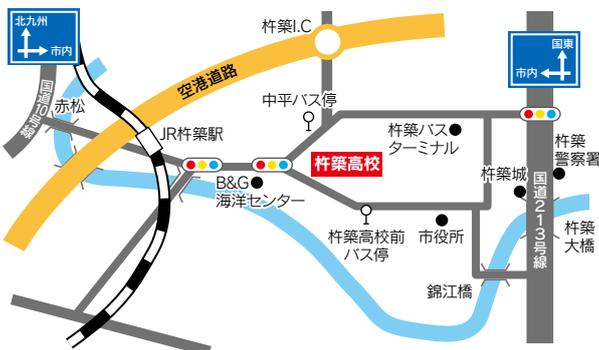
自己実現を図る
キャリア教育



今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い別企画を検討中

大分県立杵築高等学校

〒873-0014 大分県杵築市大字本庄2379番地
TEL 0978-62-2037 (代) FAX 0978-62-2122
<http://kou.oita-ed.jp/kituki>



グローバル講演会「EUがあなたの学校にやってくる」



「志四海プロジェクト」の一環としての講演会を実施しました。

現在、欧州連合(EU)の駐日大使や外交官が全国の高校32校を訪れ、欧州への理解と交流を深める「EUがあなたの学校にやってくる」が実施されており、その開催校に本校が選ばれ、オランダ王国大使(ペーター ファン・デル・フリート氏)をお迎えしました。

1・2年生を対象に行われた講演会では、オランダ王国の紹介や経済、そして日本との結びつきなど、いろいろな興味深いお話をしていただきました。

講演会終了後は希望者19名との懇談会も持たれ、生徒からの多岐にわたる質問に一つ一つ丁寧に答えさせていただきました。生徒たちにとって、世界をより身近に感じるとても貴重な機会となりました。

(生徒の感想)

私が今回の講演の中で一番心に残っていることは、オランダの子どもたちについてです。ユニセフの調査により世界で最も幸福でいられるのはオランダの子どもたちだということを知りました。私は将来、幼児教育に携わる仕事に就きたいと考えているのでとても興味深いものでした。私とその夢を実現することができたら、オランダのように子どもたちが幸福でいられるような環境を作っていきたいと思います。そして今日オランダは様々な人々が共生しており多様性に富んでいるということを知りました。まだ差別が完全になくなっていないということでしたが、なくす努力をしい方向に進んでいるということや、同性婚を認めるということなど、オランダのとても前向きで温かい考え方をとても尊敬します。

「シンガポール学生との交流会」



2年生52名がシンガポール国立大学の大学生57名とZoomを使ってオンライン交流会を行いました。3~4名の16班に分かれて、日本やシンガポールで行われている「SDGs」の取り組みを日本語で互いに紹介しました。また、本校の生徒は写真を使って日本の文化や地元杵築市の紹介も行いました。シンガポールの大学生は約2年間、日本語を学んでいるということもあり、日常会話レベルの会話は問題なく対応できている様子でした。本来、コロナの影響がなければ修学旅行で訪問する予定であった大学の学生との交流会がオンラインということではありましたが無事に実施でき、大変有意義な時間となりました。

(生徒の感想)

学校でこのような体験ができるのはとても貴重なので参加できてよかったと思う。総合的な探究の時間で SDGsにおける大分や杵築市内の活動を学んできたが、今回はシンガポールの活動と実際に比較して面白く、新しい発見が多くできた。実際にこのように他の国の方と交流することで、文化に違いがあったり、逆に共感できることがあったりしてとても楽しい時間を過ごすことができた。シンガポールは食品ロス削減するのに力を入れており、日本ももっと大きな取り組みをするべきだと思った。SDGs以外にもお互いの文化や生活の違い、そしてお互いの国について話し合うこともできた。もっと他の国について知りたいなと思える素敵な日になった。